

バイオマスのか〜輝くまちづくり、そして地球を守る〜

バイオマス利活用、エネルギー、環境保全

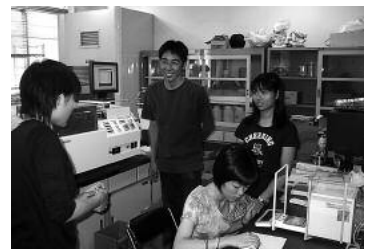
独立行政法人

農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所

会期：2010年7月28日（水）12：30～7月30日（金）14：30 2泊3日

バイオマスを上手に使うと、循環型社会の形成、地域や地球の環境保全につながります。私たちの周りは、バイオマスでいっぱいです。山の木、植物、動物、生ごみ、ふん尿、これらは全部バイオマスで、元々は光合成で生産され、技術の力で私たちの暮らしに役立つエネルギーや資材に変換されます。そして、みんなに使われて循環します。成功の鍵は、人、技術、制度がそれぞれの地域でうまく機能することです。

今回のキャンプでは、バイオマス利用でどんなよいことができるかを学びながら、自分のアイデアをまとめていきます。様々な専門分野を持つ研究者、現場で働く人たちとふれあい、技術がどのように開発され、現場の創意工夫で磨かれて使えるものになっていくかを体感していただきます。力を合わせて行う研究開発の醍醐味を理解し、自らの暮らしを見つめ、可能性を探る機会になるでしょう。来たれ、未来を夢見て拓こうとする若者たち。



会場

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
農村工学研究所
茨城県つくば市観音台2-1-6
(つくばエクスプレス線「みどりの駅」下車、バス約11分またはJR常磐線牛久駅西口よりバス約25分)
URL：<http://nkk.naro.affrc.go.jp/>
宿泊場所：農林水産省 農林水産技術会議事務局
筑波事務所 国内研修生宿泊施設

募集人数

6名

キャンプのプログラム内容（予定）

セッションⅠ「学ぶ、考える」

バイオマスについて、話を聞いたり、話し合ったりしながら知識を深めます。また、実習の準備をしたり、アイデアを煮詰めたりします。

セッションⅡ「見て、聞いて、触って感じる」

千葉県香取市に出かけて、バイオマス利用の現場を体験型で見学します。また、バイオマスサンプルを収集します。道中で、研究者の生の声を聞きます。

セッションⅢ「測ってみる、まとめる、発信する」

自分で収集したサンプルなどを分析し、その意味を考えます。また、わかったこと、提案などをとりまとめ、情報発信の準備をします。

【任意の宿題】

キャンプ前 ①バイオマス・太陽光・風力・水力を総合的に活用するアイデアと、アイデアを試す実験方法を考える。

- ②家庭での1ヶ月の電気使用量(kwh)・ガス使用量(m³)・灯油・ガソリン・軽油消費量(L)・水道使用量(m³)・ゴミ排出量(だいたいkg)調べ

キャンプ中 ①バイオマス4コママンガ作成

- ②バイオマスの歌の習得

キャンプ後 ①液肥を用いた野菜または花の栽培

スケジュール（予定）

1日目 7月28日（水）

12:30～12:50 集合受付
13:00～13:30 開講式・オリエンテーション
13:30～18:00 セッションⅠ「学ぶ、考える」
講義（1時間）
実習の説明と準備（2時間半）
アイデア討議（1時間）

2日目 7月29日（木）

8:30～17:15 セッションⅡ
「見て、聞いて、触って感じる」
*山田バイオマスプラント等の見学・実地体験
(牧場の見学、メタン自動車の試乗、消化液散布現場の見学、消化液で育った野菜の試食(風土村)、メタン濃度等の測定、分析用サンプル収集)
17:15～19:00 講師等との交流会

3日目 7月30日（金）

8:30～11:30 セッションⅢ
「測ってみる、まとめる、発信する」
*バイオマスサンプルのC・N量、アンモニアと二酸化炭素の化合物の質量測定、レポート作成
11:30～13:30 レポートまとめ(昼食を含む)
13:30～14:15 発表会
14:15～14:30 閉講式

1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

プログラムの関連図書、Webサイト紹介

書籍「アグリ・バイオマスタウン構築へのプロローグ」
URL：http://nkk.naro.affrc.go.jp/soshiki/soshiki04-sogo/07_shigenjyunkan/biomass_town.html
農村総合研究部 資源循環システム研究チームHP
URL：http://nkk.naro.affrc.go.jp/soshiki/soshiki04-sogo/07_shigenjyunkan/gaiyo.html